

◆地形区分に基づく液状化の発生傾向

液状化の発生傾向の強弱	250mメッシュの微地形分類	
		埋立地、砂丘末端緩斜面、砂丘・砂州間低地、旧河道・旧池沼
		干拓地、自然堤防、三角州・海岸低地
		砂州・砂礫洲、後背湿地、扇状地（傾斜 $<1/100$ ）、谷底低地（傾斜 $<1/100$ ）、河原（傾斜 $<1/100$ ）
		砂丘（末端緩斜面以外）、扇状地（傾斜 $\geq 1/100$ ）、谷底低地（傾斜 $\geq 1/100$ ）、河原（傾斜 $\geq 1/100$ ）
		山地、山麓地、丘陵、火山地、火山山麓地、火山性丘陵、岩石台地、砂礫質台地、火山灰台地、礫・岩礁

注意：水部(河道、湖沼)については、陸部がないことから液状化の発生傾向を評価しない。